

第1学年 生活科 学習指導案

児童 男子11名 女子14名 計25名
指導者 藤原 薫
場所 生活科室

1 単元名 あきとあそぼう

2 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」と、内容(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。公園や野原、学校の周りで秋を探したり調べたりする活動を通して、秋の樹木や草花、虫などが夏の頃とは違ってきたことに気づくようにするとともに、それらを使って友達と協力して色々な物を作ったり遊んだりしながら、自然に親しみ、自然と遊ぶ楽しさに気づくことができるようにすることをねらいとしている。

1年生の子どもたちは、これまでアサガオや枝豆の世話や観察をしたり、学校の周りで虫などの生き物や草花を探し、それらで遊んだりしながら、季節とふれあってきた。様々な体験活動を通して、植物の生長の仕方や生き物の様子などに目を向けながら、自然の美しさや面白さ、不思議さを感じることができた。しかし、生活体験の違いにより、自然とのふれあいに対する意欲には大きな個人差が見られ、友達の行動を見て真似をしている子どもや後ろから見ていただけの子どももまだ見られる。また、子どもたちは、学校や家の周りの自然の変化に気づき始めてはいるものの、それらにじっくりと目を向けて進んで季節を楽しもうとするまでには至っていない。そこで、秋の自然を全身で感じさせることにより、自然とのかかわりを増やしていくとともに、様々な遊びの体験を通して、友達とのかかわりも深めていければと願っている。

指導にあたっては、まず、秋の香り、木の葉の色づき、落ち葉の音、虫の鳴き声、手触りなどを諸感覚を使ってとらえさせ、秋の自然に積極的に関わろうとする意欲を引き出したい。次に、木の葉や実などをたくさん集めさせる。それらを使って遊んだり作ったり、見つけたものを自慢し合ったりする活動を十分に楽しませながら、秋の季節感をとらえさせたい。また、友達から学んだり協力したりする活動を通して、自分のがんばりや友達のよさに気づかせ、力を合わせるとさらに楽しくなることも実感させたい。

3 単元の目標

(1)【生活への関心・意欲・態度】

・公園や野原、学校の周りの自然に関心を持ち、虫探しをしたり、植物の葉や実を使った遊びを工夫したりしながら、楽しく遊ぼうとする。

(2)【活動や体験についての思考・表現】

・公園や野原、学校の周りの自然物を使って、好きな物を作って遊んだり、楽しかったことを友達や先生に伝えたりすることができる。

(3)【身近な環境や自分についての気づき】

・身の回りの季節の変化に気づくとともに、自然物を使って遊んだり、友達と遊んだりすることの楽しさに気づくことができる。

4 単元の主な評価規準

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 1年 P4参照

5 指導計画(18時間)

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 1年 P4~5参照
 本時 12/18(制作3時間扱いのうち、本時はその1回目を60分で実施)

6 本時の指導

(1) 目標【身近な環境や自分についての気づき】

友達と力を合わせ、自然物を使って「秋のわくわくランド」を作る楽しさに気づくことができる。

(2) 研究主題とのかかわり

気づく段階

- ・前時に立てた計画について紙板書をもとに確認し合い、みんなが楽しめる秋のコーナーを友達と力を合わせて作ろうとする意欲を高めたい。そのために、必要な道具や材料の準備、場の設定などの環境を整えておく。

ふり返る段階

- ・秋の自然を生かした楽しさを意識させるため、グループごとの反省の時間を設け、うまくできたところやもっと工夫したいところについて話し合わせ、次の制作活動にいかしたい。
- ・ふり返りカードで自己評価させることのほか、自分がかんばったことや友達について素晴らしいと思ったことなどについて発表させることにより、満足感を持たせたい。
- ・秋のわくわくランドが完成したらみんなで遊ぶことができることを伝え、次時の活動で完成させようとする意欲を高めたい。

(3) 展開

段階	学習内容と活動	教師の支援(・)評価()	資料等
気づく 5分	1 活動のめあてをつかむ。 あきのわくわくランドを ちからをあわせてつくろう。 ・ともだちと たすけあおう。 ・はっぱやきのみのかた をかんがえよう。 ・たのしく つくろう。	・前時までの秋の遊びの活動を想起させ、楽しさをみんなに紹介するためのコーナーを工夫して作ろうとする意欲をもたせる。	紙板書
か か わる	2 活動の約束を確かめる。 ・道具は安全に気をつけて使う。 ・困ったときは、誰かに相談する。 ・音楽が鳴ったら、活動をやめる。 3 秋のわくわくランドを作る。 (内容によって、個人またはグループでの活動とする。)	・材料や場の設定を活動しやすいよう配置する。 自然物を使って、好きな物を作ったり友達と力を合わせて活動したりすることの楽しさに気づいているか。 [発表、行動観察]	紙板書 会場図 音楽テープ

40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドングリごま、すすきのふくろう、やじろべえ、落ち葉の貼り絵、落ち葉の壁飾り、落ち葉のプール、松ぼっくりのまとあて、ドングリ人形、木の実ボーリング、ネックレス、カード合わせ、はっぱのおうちなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具を使う時は、安全に留意させる。 ・ 友達にも楽しんでもらうには、どうすればよいか考えさせる。迷っている子どもには試し遊びをさせ、より良い方向性を見出させていく。 	
ふり返る 15分	<p>4 グループごとに活動の反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うまくできたところ ・ もっと工夫したいところ <p>5 全体で本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と助け合ったか。 ・ 葉っぱや木の実の使い方を考えたか。 ・ 楽しく作れたか。 <p>6 次の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の続きの制作をし、秋のわくわくランドを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの制作活動についてふり返り、次時の制作にいかせるようにさせる。 ・ ふり返りカードに記入させ、自己評価させる。 ・ 自分や友達のがんばりについて発表させることにより、満足感と次への意欲をもたせる。 ・ 本時の反省をもとに、さらに工夫をし、秋のわくわくランドを完成させようとする意欲をもたせる。 	ふり返りカード




(4) 評価

評価規準 【身近な環境や自分についての気づき】 [方法]	具体の評価規準	支 援
	十分満足	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物を使って遊ぶことの楽しさや友達と活動することの楽しさに気づいている。 <p>[発表、行動観察]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然物を使って遊ぶことの楽しさや友達と活動することの楽しさが分かるだけでなく、友達のよさやがんばり、自分との違いにも気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかった活動を想起させ、友達と一緒にやってみたいことを決めさせる。自分の得意なことで良いということをつかかせ、活動に取り組ませる。

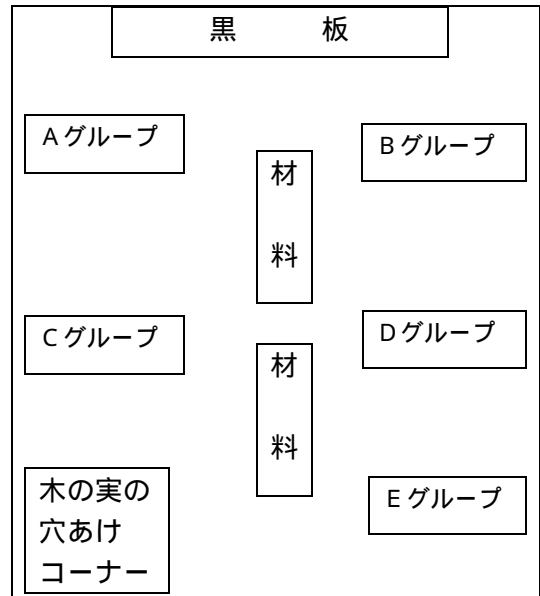
資料

ふりかえりカード

がつ 日にち なまえ _____

- 1 ともだちと たすけあいましたか。 
- 2 はっぱやきのみので つかいかたを かんがえましたか。

- 3 たのしく つくれましたか。 

(会場予定図)



	評価規準	評価の方法
生活への 関心・意欲・態 度	水や砂、植物の花や葉などを使った遊びを通して、自然に親しもうとする。 先生や家の人と相談して、初めて迎える小学校の夏休みに自分がやりたいことを決め、意欲的に生活しようとする。 友達と一緒に生き物探しを楽しんだり、観察したりして、進んで自然と触れ合おうとしている。	行動観察 記録カード 発言
活動や体験につ いての思考・表 現	水や砂を使った遊びや草花を使った遊びを、自分なりに工夫して楽しく遊ぶことができる。 自分がやりたいことや気をつけなければならないことを考えて、夏休みの計画を立てることができる。	行動観察 記録カード 作品、発表
身近な環境や自 分についての気 づき	身の回りの自然や生活の場で、春から夏への季節の変化に気づくことができる。 長期休業中は、規則正しい生活をするのが大切なことや健康管理に気をつけなければならないことがわかっている。	行動観察 記録カード

月	段 階	時	学 習 内 容	具 体 の 評 価 規 準		支 援	備 考
				規 準 と の 対 応	十 分 満 足		
7	気 づ く	1	・校庭の花壇や学校の周りの様子を想起し、春と比べて変わってきたところを発表し合う。	気	遊んでいる時や、家での生活、身の回りの光景など多方面から季節の変化に具体的に気づいている。	友達の発表や教師との対話から、季節の変化に気づかせる。	
		2	・学校の周りや通学路を通して、季節がかわってきた様子を見つける。	気	校庭や身近な場所での季節の変化を、植物や生き物、町の様子などの観点を挙げて比較している。	季節ごとに比較しやすくするために、観点を決めてカードに書かせる。写真を撮って、後で確かめられるようにする。	
	か か わ る	3	・学校の周りや野原で友達と生き物探しをする。	関	友達と情報交換しながら生き物のいる場所を予想して探している。	友達と一緒に声掛けしたり、教師と一緒に活動したりして、活動が広がるようにする。	ザリガニ とり 清水留七氏 45 - 2168
		4					
		5	・見つけた生き物を観察したり、観察して分かったことを友達に紹介したりする。	関	見つけた生き物を興味を持って観察し、体の様子や動きの特徴を分かりやすく発表することができる。	見つけた生き物と触れ合う時間を十分に設定し、観察をさせる。	
		6	・やりたい遊びをするための計画を立てる。	関	夏だからこそ楽しめる遊びを考え、みんなで遊ぶための計画を具体的に立てている。	季節を感じられる遊びを想起させ、考えるヒントになるようなワークシートを活用する。	
		7	・砂や水を使った遊びを工夫して、みんなで仲良く遊ぶ。(校庭)	思	自分からすすんで砂や水を使った遊びをしたり、草花を使った遊びを自分なりに工夫したりして楽しく遊ぶことができる。	自由遊びから次第に集団での遊びに活動を広げていけるよう、グループでの活動を仕組んでいく。	
	8	8	・夏休みにしたいことを話し合い、計画を立てる。	思	自分がやりたいことや休み中に気をつけなければならないことを考えて具体的に計画を立てることができる。	友達の発表を参考にさせたり教師がついたりして計画を立てられるようにする。	
		9		気	規則正しい生活をする事の大切さや健康管理に気をつけなければならないことが分かる。	友達の考えや教師との対話から、規則正しい生活をする事の大切さや健康管理に気をつけなければならないことに気づかせる。	
		10	・やりたいことをカードに書いたり、発表したりする。	関	夏休み中にやりたいことがはっきりしていて、意欲的に生活しようとしている。	対話を通して、夏休みにやりたいことを考えさせる。	

単元の評価規準

観 点	評 価 規 準	評価の方法
生活への関心・意欲・態度	学校の周りや葛丸川周辺の自然に関心を持ち、虫探しや植物の葉や実を使った遊びを通して、秋の自然に親しもうとしている。 遊び方やルールを工夫して、友達と一緒に楽しく遊ぼうとしている。	行動観察 記録カード 発言
活動や体験についての思考・表現	学校の周りや葛丸川周辺の自然物を使って、好きな物を作って遊んだり、遊び方を工夫してみんなで遊んだりして楽しむことができる。 活動をふりかえり、秋のよさや楽しかったことなどを友達や先生に伝えることができる。	行動観察 記録カード 発表、作品
身近な環境や自分についての気づき	身の回りの秋の様子や、季節の変化に気づく。 自然物を使って遊ぶことやみんなで遊ぶことの楽しさに気づく。 木の葉や実にはいろいろな種類があることに気づく。	行動観察 記録カード

月	段 階	時	学 習 内 容	具 体 の 評 価 規 準		支 援	備 考
				規 準 と の 対 応	十 分 満 足		
9	気 づ く	1	秋になり学校の周りがどのように変化したかを発表する。	気	学校の周りの様子、生き物や草花ばかりではなく、学校や家での生活などからも季節が秋に変化していることに気づいている。	春や夏の様子と比べて変わっていることを考えさせて、季節の変化に気づかせる。	
		2	学校の周りを歩き、秋探しをする。	関	虫探しや、木の葉や実を集めたりする活動を楽しみながら、秋の様子を感じ取るようとしている。	教師や友だちが誘って、一緒に虫探しや木の葉や実を集める活動を楽しみながら、季節の変化に関心をもたせる。	
	か か わ る	3	春や夏に虫探しをしたことを想起し、学校の周りで虫探しをする。	関	すすんで虫のいそうな場所を探しながら、虫探しの活動を楽しんでいる。	虫の鳴き声に耳を傾けたり、友達同士で情報交換させたりしながら、虫のいそうな場所を探すよう声がける。	
		4					
		5	葛丸公園や野原の変化について予想したことと照らしながら秋探しをする。	気	学校の周りの様子や、春・夏の頃の野原の様子と比べながら、季節が秋に変化していることに気づいている。	春や夏の様子と比べて変わっていることを考えさせて、体全体で自然に触れ合わせながら、季節の変化に気づかせる。	
		6	葛丸川の河原や葛丸公園で秋の自然と遊ぶ。	関	自分のめあてやこだわりを持って木の葉や実をたくさん集めたり、探そうとしたりしている。	教師や友だちが誘って、一緒に虫探しや木の葉や実を集める活動を楽しみながら、季節の変化に関心をもたせる。	
		7	自然の中で木の葉や実を集めて、色や形等の視点から分類する。	気	木の葉や実が、どの木から落ちたのか探りながら集めている。	落ちているものだけでなく、樹木を見上げることも促しながら活動させる。	
		8	見つけた木の葉や実の様子を観察し、カードにまとめる。	気	五感を生かしながら、木の葉や実の特徴をとらえている。	葉や実を観察させ、色、形、手触り、大きさ等の観点から、その違いに気づかせる。	
		9	いろいろな葉や実を使って、遊ぶ。	思	木の葉や実、草花の特徴を生かして作品を作ったり遊び方を工夫したりしている。	友達の作品を参考にしたり、作業を手伝ったりさせながら、いろいろな遊びを体験させる。	
		10	葉や実を使って、友達と一緒に色々な遊びを体験する。	思	木の葉や実、草花の特徴を生かして作品を作ったり遊び方を工夫したりして、友達と仲良く遊ぶことが出来る。	友達の作品を参考にしたり、作業を手伝ったりするなどして作品を完成させ、友達と一緒に遊ぶ体験を積みませる。	
11	11	秋のわくわくランドを作る計画をたてる。	関	みんなが楽しめるわくわくランドにするために、自然物の特徴を生かして、秋を楽しむ方法を考えようとしている。	友達の意見を参考にしながら、秋の自然物を使った楽しみ方（遊び方）を考えさせ、学級のみんなと楽しむようとする意欲をもたせる。		
	12	秋のわくわくランドを友達と協力して作り、秋の楽しさを味わう。	気	遊びを通して、自然物を使って遊ぶことの楽しさや友達と遊ぶことの楽しさがわかるだけでなく、友だちの良さや頑張り、自分との違いにも気づいている。	友達と力を合わせて活動する中で、作業を手伝ったり、作り方を学んだりさせながら、友達と活動する楽しさに気づかせる。		
	13		14	15	16	関	友だちと一緒に、遊び方やルールをいろいろと工夫しながら、もっと楽しく遊ぼうとしている
17	18	ふりかえる	思	楽しく遊んだりしたことや自分が工夫したこと、遊びを通して気がついたことなどを工夫して表現したり友だちや先生に伝えたりすることができる。	友だちの作品を参考にさせたり作業を手伝ったりするなどして、活動の振り返りを形に残す。		

葛丸河川公園
トイレ管理
役場の建設課
に連絡する。
11月以降、
普段は施設し
てあり、使用
不可。